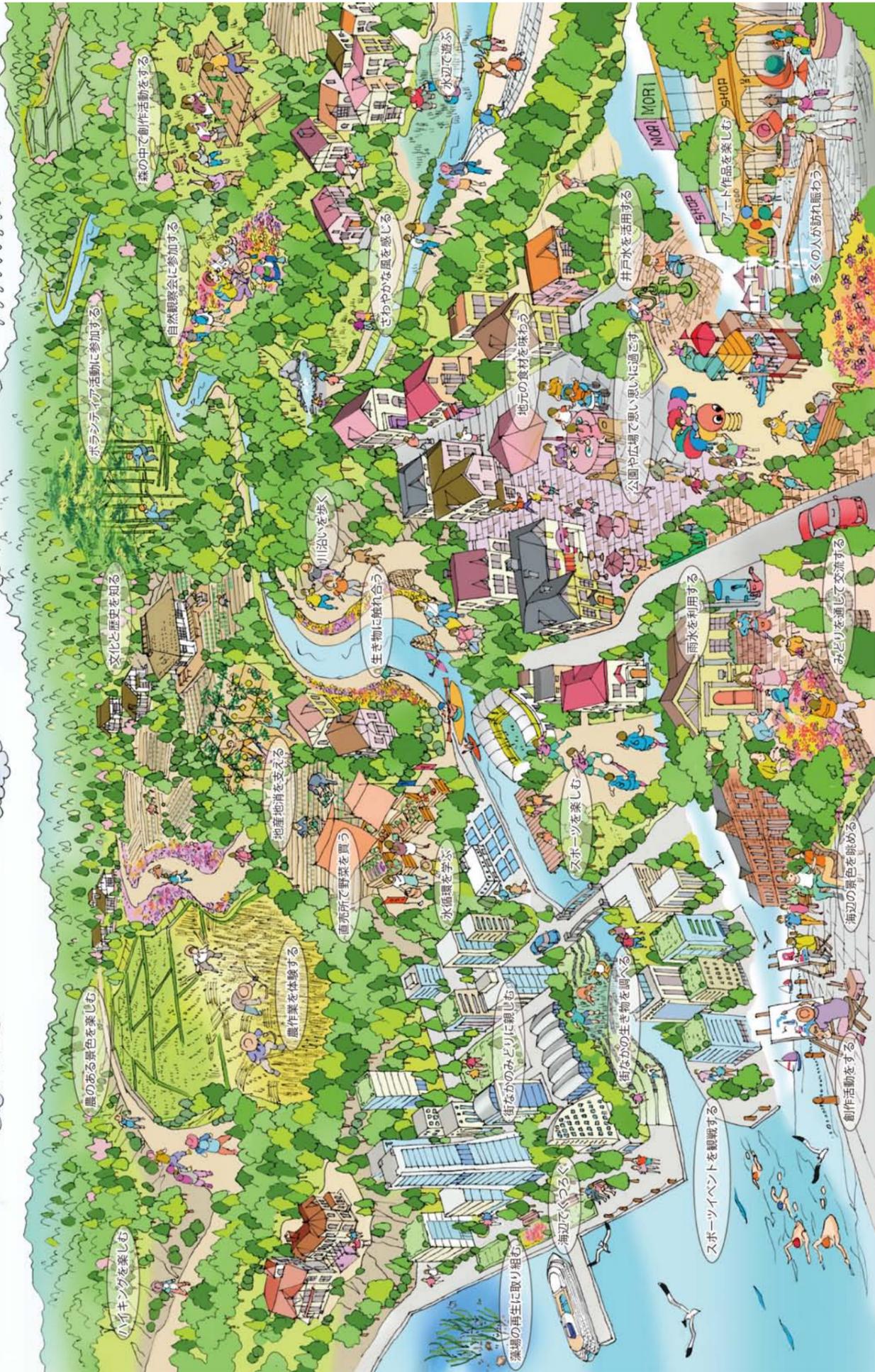


目標像：多様なライフスタイルを実現できる水・緑豊かな都市環境



横浜市

概要版

2016(平成28)年

水と緑の基本計画

序章 横浜市水と緑の基本計画について

「横浜市水と緑の基本計画」は市内にある河川や水路、樹林地、農地、公園といった水や緑を一体的にとらえ、横浜らしい水・緑環境をまもり、つくり、育てるために、本市で行う水・緑環境施策の方向性・考え方を示した総合的な計画です。

平成18年の策定からおよそ10年が経過したことから、これまでの取組を振り返るとともに、社会状況の変化などを考慮し、平成28年に計画内容を一部改定しました。



第1章 横浜の水と緑の特徴

本市は370万市民を擁する大都市でありながら、市民生活の身近な場所に樹林地や農地、公園、せせらぎ、水辺など変化に富んだ豊かな水・緑環境を有しており、これまで様々な市民活動によって支えられてきました。

これらの水・緑環境は都市環境を形成する主要な要素であり、生物多様性の保全や環境保全、防災・減災、スポーツ・健康など様々な機能を担っています。



第2章 横浜の水と緑の課題と今後の方向性

水と緑の特徴と多面的な機能を踏まえ、「これまでの取組の成果を踏まえた課題」と「変化する社会状況と課題」から、今後充実させ、強化する内容を今後の方向性として整理しました。

(1) 横浜の魅力を高める水・緑環境の保全・創出・育成

- ・ 保全・創出に向けた取組の継続
- ・ 保全・創出されたストックの維持管理と質の向上の推進
- ・ 水と緑による都市の骨格形成
- ・ 防災・減災に向けた取組の推進
- ・ 都心臨海部の魅力を高める取組の推進 など



(2) 水・緑とともにある多様なライフスタイルの実現

- ・ シニア層をはじめ多様な世代が活躍できる取組や場づくり
- ・ 活動団体同士の連携の推進
- ・ 水と緑を通じたコミュニティの活性化や醸成
- ・ 全国都市緑化よこはまフェアの開催を契機とした市民と水と緑との関わりの深化 など



第4章 水・緑環境の保全と創造の推進計画

推進計画 1 流域ごとの水・緑環境をつくり・高めます

(1) 流域単位の推進計画を展開する意義

水循環基本法も制定され、流域単位で推進計画を展開する重要性が高まっていることを踏まえ、取組を進めていきます。

(2) 流域でとらえた水・緑環境の保全と創出の方針

- ・ 樹林地や農地の保全などによる健全な水循環の回復
- ・ 雨水浸透ます、雨水貯留タンクなどの設置の促進
- ・ 河川の護岸や下水道雨水幹線などの整備による治水対策の推進
- ・ 浸水ハザードマップなどの活用による自助・共助の推進
- ・ 水環境目標の設定と取組効果の確認
- ・ 閉鎖性水域における下水処理の高度処理化、合流式下水道の改善
- ・ 海域での藻場の再生や育成
- ・ 地下水の保全に向けた汚染未然防止対策の実施
- ・ 水や緑のネットワーク化と健康づくりの場としての活用
- ・ ストックの効率的で適切な維持管理など計画的なマネジメント

(3) 流域ごとの推進計画

市内の8流域ごとの特性や「源・上流域」「中流域」「下流域」の水・緑環境に応じ、「量」「質」「魅力」の取組方針をまとめ、流域内の将来像となる「水と緑の回廊像」を示します。



第3章 計画の目標

基本理念	横浜らしい水・緑環境の実現 ～市民・事業者・行政の連携・協働により実現します～
目標像	多様なライフスタイルを実現できる水・緑豊かな都市環境 ※イラストでも表現（裏面4ページ） 《都市の姿》 ・ 緑が市街地に引き込まれています ・ 健全な水循環が回復しています ・ 地域の中で農のある暮らしが息づいています ・ 都心臨海部に水と緑が増え魅力が高まっています ・ 多様な生き物が生育・生息できる環境が形成されています ・ 風が都市に引き込まれています 《市民の姿》 ・ 水や緑との様々な関わりが深まっています
基本指標	水緑率 35%をさらに向上

推進計画 2 拠点となる水と緑、特徴ある水と緑をまもり・つくり・育てます

(1) 緑の10大拠点の水と緑をまもり・育てます

河川の源・上・中流域にあるまとまりのある樹林地や農地、湧水や水辺などを「緑の10大拠点」として位置付け、優先的に保全・活用・育成します。

(2) 市街地をのぞむ丘の軸の水と緑をまもり・育てます

郊外部と都心臨海部周辺との間の丘陵地や台地には公園や樹林地、農地が点在し、その縁に斜面緑地があり、これらを「市街地をのぞむ丘の軸」として位置付け、緑地の保全や水・緑環境の整備・維持管理を推進します。

(3) 海をのぞむ丘の軸の水と緑をまもり、海と人とのふれあい拠点をつくり・育てます

旧海岸線沿いに連なる台地や丘陵地の緑の軸を「海をのぞむ丘の軸」として位置付け、水・緑環境の保全・創出・維持管理を推進します。また、保全した斜面緑地の安全性の向上を図ります。「海と人とのふれあい拠点」では、海を身近に感じる空間を整備・活用します。

(4) 水と緑により都心臨海部の魅力づくりを進めます

全国都市緑化よこはまフェアの開催を一つの契機としながら、都心臨海部で豊かな水・緑環境の創出・充実・維持管理を進めることで魅力ある街並みを形成するとともに、賑わいが創出されるよう、市民や事業者などと連携し活用を進めます。

(5) 農によるまちの魅力づくりを進めます

市内産農畜産物の生産振興や農を支える担い手への支援、農地の利用促進、農景観の保全を進めます。また農に親しむ取組や地産地消の取組を推進します。

(6) 里山景観の保全を進めます

樹林地や農地などの一体的な保全・活用を図り、里山景観の保全を進めていきます。

(7) 緑豊かな市街地を形成します

緑豊かな市街地の形成に向け、土地利用転換などの機会をとらえた緑の創出、地域のニーズを踏まえた公園の新たな利活用の検討、街路樹の良好な育成など、市民に身近な緑の保全・創出・活用を進めます。



推進計画 3 水と緑の環境を市民とともにつくり・育て・楽しみます

(1) 水・緑環境に関わるきっかけづくりを進めます

様々な機会をとらえ、水や緑に関する取組の紹介やイベントの開催などを推進します。

(2) 親しみ、楽しむ場の充実を図ります

シニア層をはじめ、多様な世代の市民の知識や能力が発揮される取組の充実や場づくりを進めます。

(3) 活動を担う人・団体を育てます

水や緑を支えるボランティアや活動団体の活動を支援します。

(4) 活動の輪を広げます

様々な活動団体同士の連携や交流を推進します。



第5章 推進施策

第4章の推進計画に基づき、「樹林地」「農地」「公園」「緑化」「水循環」「水辺」の各分野ごとに推進施策を整理しました。